

健康革命新聞

平成17年2月発行

vol.2

発行者
下平 正文
発行所
メタボリックエコシステム研究所
〒989-6117
宮城県古川市旭5丁目3-26
フリーダイヤル 0120-201-546
Fax 0229-24-2428
E-mail takemi@mwa.biglobe.ne.jp
URL http://www.goldkousan.com

定期購読
月々300円
年間3000円



健康革命創建千夜一夜②

サンゴミネラルの神話は大仁田鍾乳洞から

健康医学情報センター
医学博士 下平 正文

2005年の1年間、陸前シエラザード氏はサンゴミネラル88の健康革命創建千夜一夜物語を、みちのく古川の地から発信し、語り続けることに致します。

① サンゴ礁のルポルターージュに南へ飛ぶ陸前シエラザード氏



新年のバカンスを利用して、陸前シエラザード氏はサンゴミネラル情報取材の為、南の海へ探訪の旅に出かけます。コースは、まず沖縄に始まり、次いでオーストラリア東海岸沿いのグレートバリアリーフ。そして最後に去年の暮れ、津波の悪魔に襲われたインド洋の真珠リゾートヒビ島での鎮魂の祈り、サンゴ礁に対する海底環境被害の調査を目的とするものでした。

シエラザード氏は沖縄で、得意なスキューバダイビングで澄んだ海の豊かなサンゴ礁と、そこに群がる色鮮やかな魚たちと戯れながら、現代版宮城のイメージを満喫します。次いで訪れたのはオーストラリア東海岸、グレートバリアリーフです。そこでは長さ2000kmにも達する大堡礁サンゴの壮観さに驚き、フィッシングや鳥巡りクルージングの醍醐味も堪能します。そして最後のルートには、インド洋の常夏パラダイス、タイのヒビ島を選びます。まず、この度の津波による被害に対し、敬虔な祈りを捧げ、本業のサンゴ礁被害の調査を進めます。

シエラザード氏が海底で目にしたものは、陸上から押し流されたおびただしい瓦礫によって、無残にも破壊されたテーブルサンゴや、枝を折られ土に埋もれたりと全体70%にも及ぶ傷みが見られるサンゴ礁の被害でした。回復には今後10〜30年かかるのではないかとされている。妻まじい海底環境破壊の実態を前にして改めて自然災害と地球環境保全の重大さを痛感したものでした。これらの現地取材の結果は3月号以降、順次報告される筈であり、ご期待をお願い致します。

飲む酸素 特許: 3539650号 水処理用セラミックス

世界の名水 パナジウムイオンゲルマニウムイオン

飲む酸素シリーズは、多種のミネラルイオンが融合され、酸素不足となっている現代人の細胞へ、ミネラルや酸素をバランスよく供給することによって、酸素バランスを改善し、細胞を活性化させてくれます。

業務用浄水器でミネラル水を作りましょう

リースでのお取り扱いはOKです!!

型番	使用可能量	価格(税込)	1人あたりの料金
20型	20L	395,000円	19,750円/月
30型	30L	550,000円	18,300円/月
50型	50L	800,000円	16,000円/月

短時間で簡単にミネラル水を作りましょう

約2700〜4000Lのミネラル水を抽出可能です。(58円/L〜77円/L)

パナ・ゲルマ<88> Q1300

..... ¥230,000

② サンゴミネラル88の神話のルーツは大仁田鍾乳洞に始まる!



帰国後、陸前シエラザード氏はこのルポルターージュで感動したサンゴ礁の美しさと、そのルーツをぜひ知りたいという願望にかられます。そこで氏は、東北大学理学部の古生物学者、珊瑚太郎教授に面談し、博士の教えを乞うことにしました。珊瑚太郎教授の「ご好意と快諾を得たシエラザード氏は、博士の案内で今度はみちのく釜石近郊の大仁田鍾乳洞にそのルーツを探るための、国内ルポルターージュの旅へと再び出発します。

元来、北上山地は古生代に属する古い地層で造られている特殊な地域とされています。特に釜石近郊の大仁田地方は、小範囲の石灰地質で形成された、シルリア紀とデボン紀の石灰地層として有名です。

シルリア紀とは、今から4億3500万年〜4億1500万年前に相当し、どちらも気の遠くなるような、はるかに遠い昔の時代のことです。

この時代は、石灰岩の堆積や、隆起、海進海退、海が陸の内部まで進出したり、海が退いて陸地が広がるを繰り返す複雑な地形変化があったように、同様の地層は図1で見ると、大仁田地方の他、北陸、紀伊、四国中央、中部九州地区など、日本国中広く分布しています。

そして、これらの石灰岩層からはクサリサンゴ、ハチノスサンゴなど原始サンゴ類の化石が三葉虫などと共に多く発見されています。(図2)

大仁田鍾乳洞もそうした地形で形成されたもので、4億年の歳月を経た今日、この鍾乳洞から湧き出した水は太古の時代から創られ続けている多元素サンゴミネラル成分を豊かに含み、ミネラル不足に悩む現代人に優しい自然の恵みを与えてくれる生命のオアシス的な露水となっています。サンゴミネラルの神秘的ルーツに魅せられながら、鍾乳洞湧水を飽きずに見続けるシエラザード氏に、珊瑚太郎博士は一枚の世界地図を示しながら、サンゴ礁に関するデボン紀の壮大な出来事について熱弁を振るうのでした。

③ シベリアやカナダ地方の地層からも発見されているサンゴ化石



珊瑚太郎教授が示した世界地図は、デボン紀の気候を現したサンゴ礁の化石分布(図3)でありました。

一般にサンゴ礁が発達するためには水温が18〜5度を下らない。(年間最低水温が20度以上という説もある)比較的低い海水深(40m未満)で海水の流れが速く、塩分濃度も濃い目の澄んだ海が必要だと言われています。

ところで、デボン紀のような太古の海水に栄えていたサンゴ礁の地球レベルでの分布をその化石から調べてみると、現在のサンゴ礁分布(図5)とたいへんかけ離れた分布が伺えます。古代サンゴ礁の分布は現在の北米大陸内部や、ヨーロッパ南部、北アフリカ、中央アジア、中国大陸など、ユーラシア大陸、及び北アフリカ、オーストラリア大陸など北半球の中・高度地域を中心に広域にわたっています。

このように、デボン紀には大仁田鍾乳洞で同じ様に栄えていたクサリサンゴなど興味ある化石が世界的にも存在していた事が分かることになりました。

④ 恐竜も魚も翼竜も一緒に遊んでいたジュラ紀のサンゴ礁



シエラザード氏の熱心な質問に答えるため、珊瑚太郎博士は日本列島・マシコを操作して、ジュラ紀の日本列島の景色をコンピューター画像にシミュレートしながら説明してくれました。現れた画像は、今から2億5000万年〜2億1500万年前の時代で、大仁田石灰地層が形成された時代よりも億年ほど後のことです。

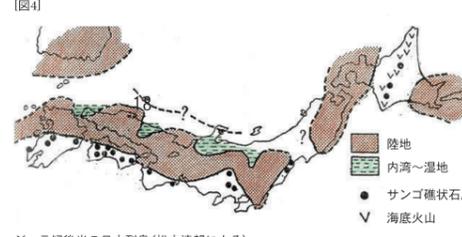
この頃になれば、地上では恐竜たちが走り回り、空には翼竜も飛び、一度は海から陸上上がった後に、再び海へ戻ってきたヘン曲がりの魚竜たちが美しいサンゴ礁の海を楽しく泳いでいる姿が想像されます。当時の日本列島は、図中に斜線で示しているようにA北海道東部地区、B北海道西部〜東北地方、C阿武隈〜関東〜近畿、中国〜北九州の3つの陸地ブロックでつづられていたようです。

それら陸地周辺の海には美しいサンゴ礁が発達していたようで、現在の日本地図上で北海道中央山地、阿武隈山系、西関東、紀伊半島、四国及び南九州地区の内部にはサンゴや石灰藻、具化石などを多く含んだ石灰岩の地層が各地で見られています。(図4)

これらの石灰岩は、珊瑚教授たち学者仲間内では『鳥の巣石灰岩』という専門用語で呼ばれています。

それらの石灰岩地帯には、サンゴが到底生育できない現在の年間平均温度が6〜3度の旭川地方も含まれていますが、この地方も当時はサンゴの生育に適した暖海であったことを示唆する化石サンゴの『指相化石』的な公証人としての役割が良く理解されるような気がします。

⑤ 世界のサンゴ礁分布と海洋環境保全によるサンゴの保護



ジュラ紀後半の日本列島(松本達郎による)

世界の海洋においてサンゴ礁は先にも述べたように、年間海水温度18〜5度以上の澄んだ比較的浅い暖海に良く発達します。低緯度のブラジル沿岸は、サンゴ礁の豊かな海となっています。(図5)

このうち、沖縄を始めとする太平洋の島々のサンゴ礁は地理的關係もあって、私たち日本人にとって大変関係深いリゾート・ビーチとして多くの人々に利用されてきました。

一方、この度のスマトラ沖地震と、それに続くインド洋巨大津波で大被害を受けたスマトラ、ジャバ島(大小スラバ列島)、タイ海岸、アンダマン・ニコバル諸島、スラバ、ジャバ島、モルディブ諸島なども豊かで美しいサンゴ礁に恵まれています。この方面には最近日本人観光客も増えてきましたが、ドイツ、英国、スウェーデンなどからの人達が多く、クリスマスバカンスで訪れた旅行者に、多数の死者、行方不明者が出る惨事が発生しました。

シエラザード氏によってルポルターージュされた津波によるサンゴ礁の天

プロフィール
医学博士
下平 正文 先生

1924年佐賀県生まれ。広島陸軍幼年学校(42期)、陸軍士官学校57期卒業。復員後東北大学理学部入学。卒業後塩野野製薬研究所所員、フナイ(現メル・タウ・フナイ)薬品研究部長として研究に従事。この間約8年間徳島大学医学部(細菌学)非常勤講師。フランス政府留学生として、パリ大学、国立自然科学研究所(CNRS)細菌学研究室にて分子生物学の研究。現在(株)健康医学情報センター代表取締役、和漢薬膳振興会会長。

※図版は竹内端夫・荒牧重雄著、地学講義(三省堂)より引用し一部改変しました。

図5 現在のサンゴ礁の分布と冬の15°Cの等水温

地球温暖化による海面上昇は、サンゴの白化現象を招き(これらについては第3号以降に申し述べる事にさせていただきます)、サンゴ礁に囲まれた発展途上の島々でも、急速な近代化による海岸の埋め立て、港湾、島内土地開発、農地造成、河川土砂の流出、生活排水、農薬乱用による海水汚染などは、美しいサンゴ礁を日に日に破壊しようとしています。

4億年の歳月をかけた人類の進化を下支えしながら、O₂を食べる酸素O₂飲む酸素のミネラル88に恩恵を与えてくれていた南の海のサンゴ礁を保護しながら、いつまでも心優しく、青く美しい海洋環境を保全してゆきたいものであります。

ウマミスコア<99>

サムライ

花・芽分化を活性促進

- 核酸関連物質DNA・RNA (ウラル・シトシン)アミノ酸(プロリン)
- 健全な補作環境の向上
- 着床率が20%向上

旨味スコア85%以上を目標!

特許: 第1761619号 土壌改良剤
特許: 第2042231号 運動性肥料
特許: 第2124331号 植物の生理活性促進剤
特許: 第3095553号 無農薬栽培法
特許: 第3241173号 温泉玉ミネラルイオン放出法
特許国際公開 W000/42169号 (B・S・T面)
アメリカ合衆国特許 US6, 812, 022 B1

健康革命手帳 好評発売中!!

パナジウムとゲルマニウムの効用を動物学的な特性を基礎にして、最近話題を呼んでいるヒトの糖代謝、特に糖尿病に対する有用性と活性水素の吸力増強作用や還元水としての特性について検討してきました。

既に知られている必須微量元素の研究成績に比べ、パナジウムはその歴史は浅くても、今後未知な領域における新しい発見開発に伴い「神秘」若く「ミネラル」としての期待がもたれています。

富士山伏流水のパナ・ウオーターに見られる特徴のように、パナジウムは34種の他の多元素ミネラルとの共有によってその効用はさらに強化されてゆきます。

それゆえ、88種にも及ぶマルチミネラルとの共存によってパナジウムは還元作用、活性水素の吸力増強作用を更に増強させながら、新しい世紀の困難を伴う環境条件を克服して現代人の健康増進に貢献できる神秘の扉を開きゆくことになりました。

健康革命手帳: 定価850円

